

# 歩み編さんだより

令和6年1月

Vol. 19

『和泊町の歩み』編さん事務局発行

『和泊町の歩み』執筆者

リレーメッセージ

## 議会の役割, 貢献振り返る

町制施行後の和泊町編（議会部門）執筆者

なかだ たかひろ

中田 隆洋氏（町議会議員）



現「和泊町誌」は、本町の公式な歴史書として、多くの先人、有志の方々が4年の歳月をかけ、完成しております。現町誌の編さんに当たられた方々に敬意と感謝の気持ちを思うとともに、本誌が和泊町発展の礎ともなったと考えております。

そして、今回、新しく発行される「和泊町の歩み」の執筆に携われたことを大変光栄に思います。和泊町の歴史を尊重し、町議会の今までの役割や貢献を振り返りつつ、過去から現在、そして未来への展望を伝えることができれば幸いです。

執筆に当たっては、議会事務局の職員の皆さんにご協力をいただき、主に、議会広報誌から情報を収集して執筆しました。また編さん室の皆さんにも膨大な量の議事録や議案書を調査し、内容の裏付け作業にご苦勞いただきました。ご協力いただきました皆さまに心から感謝いたします。

執筆に当たっては、議会事務局の職員の皆さんにご協力をいただき、主に、議会広報誌から情報を収集して執筆しました。また編さん室の皆さんにも膨大な量の議事録や議案書を調査し、内容の裏付け作業にご苦勞いただきました。ご協力いただきました皆さまに心から感謝いたします。



写真は昭和61年3月議会の様子。熱心な町民らが旧議場傍聴席を埋める（町議会保管のアルバムより）



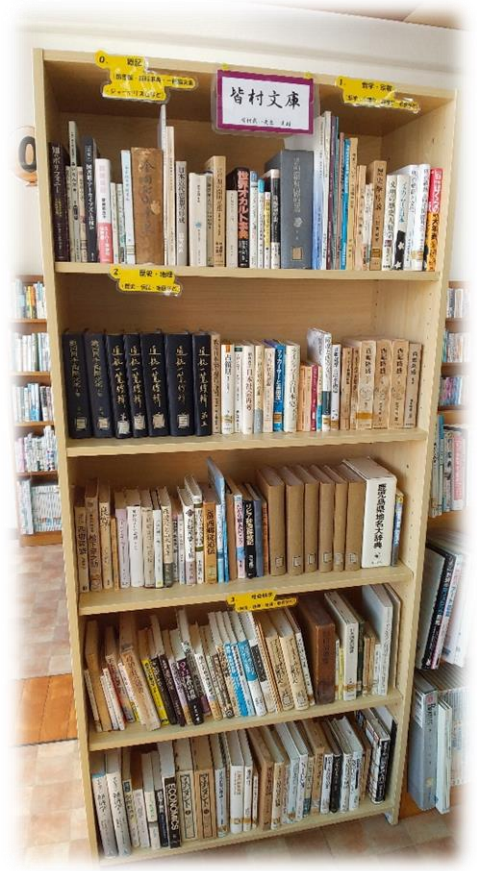
みなむらたけいち

# 皆村武一編さん委員長が図書寄贈



## 鹿大地域シンポで“お披露目”も

「和泊町の歩み」近現代編の執筆者で、同編さん委員会委員長の皆村武一・鹿児島大学名誉教授がこのほど、近現代経済史や地域史研究に関連する書籍・資料を和泊町に寄贈しました。鹿児島大学主催の地域シンポジウムにあわせ昨年12月8日、お披露目会が開かれ、皆村名誉教授による講演や寄贈経緯の報告がありました。



寄贈されたのは、皆村名誉教授がこれまで個人的に収集してきた書籍や刊行物など約400冊です。一般に読み物として楽しめる書籍のほか、近現代の社会経済史や鹿児島県・奄美群島の地域史研究に役立つ資料も多く含みます。

貴重な資料の活用を視野に、鹿児島大学が皆村名誉教授の郷里である和泊町に寄贈されるべき図書を選定。町立図書館2階閲覧室にて、「皆村文庫」として特設書架を設置し、広く利用者への貸し出し・閲覧サービスが始まりました。今後、文庫を活用して地域史などを学び、研究者の道を志す後輩が和泊町から育っていくことを期待したいですね。

### 『和泊町の歩み』編さん室（事務局）

〒891-9112

大島郡和泊町和泊 591 番地

町立図書館 1階 郷土資料室内

TEL：0997-92-3690（役場内線750）

担当：木場浅葱（学芸員）先田光演（執筆編集員）

甲恵子（事務・編集）市来美穂（編集）



## まーちもーり

歩み編さん事務局では古い写真や古文書等の資料を探しています。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

